



あっぷる通信

経営指針

利用者目線のサービス提供
に立つサービスの提供

老健って何②

入所までの流れ

前々回の通信で、介護老人保健施設（以下、老健と記載）は、在宅復帰を目指すし、リハビリを中心とする施設であること、病状の安定されている方が入所していることをお伝えしました。今回は、入所手続きと、在宅支援の流れについて解説します。

入所相談

まず、入所相談の電話があれば、ご本人の状態、将来的にはどのように考えておられるか、などをお聞きし、老健の役割、アップル学園前の方針を説明させていただきます。

ご本人面会と診療情報

さらに来所された時、利用約款に基づいて、利用料金を含め詳細を説明いたします。また、病状の安定と、受け入れに当たったの留意点を確認するために「診療情報提供書」の作成を依頼し、ご自宅又は病院に訪問し、本人に面会いたします。ご本人の意向や希望、今後の目標などをお聞きします。また自宅での過ごし方など

を確認致します。

入所判定会議

今までの情報に基づいて医師や看護師はもちろん、介護職、支援相談員、理学療法士、作業療法士、介護支援専門員、管理栄養士などの各分野の専門スタッフによるチームが、入所の可否を含め、利用者にふさわしい各サービス計画を作成します。

入所へ

受入れが決まり、お部屋の用意ができましたら、ご都合に合わせて入所いただけます。



在宅支援の流れ

入所してからは、在宅復帰に向けた支援が始まります。介護を必要とする方には、様々な事情で、ご自宅での生活ができない場合も

あります。そのため、有料老人ホームや高齢者専用住宅などへ入居される方も含めてご支援させていただくこととなります。

ケア担当者会議

実際に入所していただく、介護職・看護職・療法士・栄養士・施設ケアマネ等の担当者が集まり、ケア担当者会議（カンファレンス）を開催し、様々な視点からの情報をもとに在宅復帰に向けたケアプランを作成します。

リハビリの実施

そして、ケアプランに基づいてケアサービスを受けますが、大切なのは生活に必要な生活動作が行えるようにするためのリハビリに取り組むことです。

在宅へ

住宅改修なども並行して検討し、在宅生活の環境を整え、様々な過程を経て、在宅へ退所となります。もちろん、高齢者専用住宅などの自宅に替わる施設への支援も行います。



コラム 介護の風

思いを変える！

日々大勢の方々が、アップル学園前を利用して頂いております。

私たちは、一人でも多くの利用者が「在宅復帰・在宅支援」が出来るようあらゆる面でサポートさせて頂いております。

その一つが「利用者の思いを変える」ということです。

明るく前向きな思いになっていただくことが私達職員の仕事なのです。

一人でも多くの利用者が「明るく前向きな思いになっていただくたい」という考えで、日夜介護にあたらせて頂いております。

思いを変えて頂く機会を提供できる場として、私達職員は日夜業務に専念しております。

この職員の思いが、利用者にも伝わるのが私達職員の願いでもあります。

（顧問 西藤清紀）



新しい取組み 学習療法スタート

十一月一日より、学習療法の取組みがスタートした。
八月の法人全体会議において、法人全体で取り組むことが決定され、九月七、八日の二日間を使って学習療法説明会を実施。理事長、施設長を含む約八〇名が出席し、学習療法に取り組んでいく出発点になった。

続いて、取組みの核となるメンバー七名が学習療法を導入されている施設へ視察に行き、実際の取組みを学んだ。

一〇月六日に法人全体の「学習療法スタッフ研修会」を開催し、レポートとDV D学習を含め、支援スタッフとしての準備を進めた。



職員一人一人が やる気になり、 自主的な動きに発展

日に日に参加機運が高まり、ほとんどの職員が支援スタッフを希望し、核となるメンバーの指導のもと、自主的に何回も模擬練習を行い準備した。
そして、いよいよ十一月一日より、学習療法がスタート。実

際に支援を受けたご利用者も意欲的に参加され、順調な滑り出しとなった。職員にとっても、新たなスキルとなると共に、日常業務から離れ、関わる時間が持てることで、今までと違った発見もあり、今後の展開が楽しみな取組みとなっている。

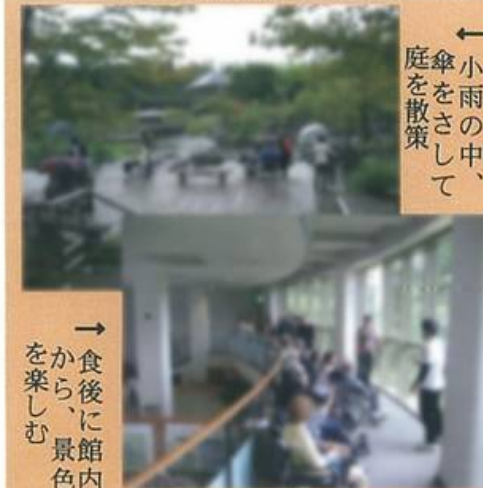


学習療法の様子 (11/4)

施設トピックス 通所リハビリテーション 「秋の遠足」

平成二二年十月三日(日) 午前十時から送迎車六台でアップル学園前を出発し、けいはんな記念公園内の景水園に向けて出発。到着後、館内に荷物を置いて庭を散策。小雨が降る中、傘をさして、鯉にえさをやる参加者も。お弁当を頂いた後は、館内で和やかに過ごし、楽しい会話に花が咲きました。

←小雨の中、傘をさして庭を散策



→食後に館内から、景色を楽しむ

法人トピックス 夏祭り開催

平成二二年八月二二日(日) 午後六時から「アップル夏祭り」を開催した。
今年も多くのご利用者のご家族様に参加され、職員の出し物、盆踊り、屋台、そして最後に花火と、楽しい夏のひと時を過ごした。
特に今年は職員も盆踊りを踊ろうと、ボランティアさんに講師をお願いし、特訓。
来年は、アップル音頭を作って踊ろうという声も出ていた。



法人トピックス キャリアアップの 仕組みを構築

職員が成長することにより質の高いサービスが提供でき、法人も安定的に成長できると言う考えに立ち、職能資格と言われる各段階において、求められる知識や能力などの要件や習得するために必要な研修などを明らかにし、全職員に配布。

ご報告とお知らせ

【ご報告】

◎勉強会実施【講師】

八月十七日【林(香)】

「認知症と認知症ケア」

九月二一日【奥戸・谷・井上】

「事例発表(施設入所)」

十月十九日【金沢・尾崎】

「事例発表(通所・小規模)」

◎中途職員研修

新入職員フォロー研修実施

平成二二年九月二七日(月)に

「中途採用職員研修」を、十月二十五日(月)に「新入職員フォロー研修」を実施。中途採用職員研修では、「福祉の理念と認知症」について、新入職員フォロー研修では、「モチベーションとメンタルケア」についてのテーマで研修を実施。

【お知らせ】

◎入所行事

十一月 マジックショー

十二月 クリスマス会

一月 お餅つき

◎通所行事

一月 新しい年を祝う会

十二月 お餅つき

◎通所(パワリハ)行事

十二月 お餅つき

◎小規模多機能行事

十一月 赤膚焼絵付体験

十二月 クリスマス会

◎小規模多機能行事

十一月 赤膚焼絵付体験

十二月 クリスマス会

◎小規模多機能行事

十一月 赤膚焼絵付体験

十二月 クリスマス会

◎小規模多機能行事

十一月 赤膚焼絵付体験

十二月 クリスマス会

施設トピックス

施設行事
「秋の野外活動」

去る十月十七日の日曜日に三階、四階の施設入所の御利用者様を対象に、秋の野外活動として大洲池公園西部地区に外出をしました。

天気予報で一週間前ぐらいには当日の降水確率四十パーセントとなっていて、「雨だったらどうしよう」という思いもありました。外出当日に近づくにつれ、徐々に降水確率も下がりに、無事に外出することが出来ました。天気だけでなく、今回の大洲池公園への外出は、施設入所の企画としては五年ぶりで、手探りな部分も少なくない中で、色々な部署の協力のおかげで無事に



秋の穏やかな日に、大洲池公園にて
軽く身体を動かす体操をする入所者の皆様

行うことができました。当施設から大洲池公園西部地区までの外出レクリエーションの参加者は3階、4階併せて六十人近い御利用者が参加していただけました。

歌や体操、
野外でのお弁当
充実した一日！

藤棚の近くに集合し、十月生まれの方の誕生会を行ないました。誕生日のプレゼントとして写真入りフォトフレームをお渡しし、ハッピーバースデーの歌を歌いお祝いしました。そのあと、職員と一緒に体操を行ない、秋の季節にちなんだ歌を歌い、お昼ご飯としてお弁当（左写真参照）を食べ、楽しみました。

普段表情の硬い方も楽しんで居られたり、外出から戻ってきてからも楽しかったとおっしゃっていたり、「今日はどうもありがとう」と仰っていただけでも私たち職員にとっても充実した1日となりました。
(入所レク担当 吉川孝之)

当日のお弁当



新連載
(計4回)

在宅を支える
リハビリ

療法師の視点から

第三回
「高齢者と住環境」

『リハビリ』と言えば身体・運動機能の向上が真っ先に思いつく方が多いかと思いますが、復帰、在宅支援を実施する老人保健施設のリハビリはこれだけに留まりません。

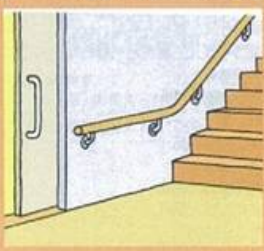
その最たるものが『物的環境整備』です。これは高齢者の周辺環境を、住み良い環境に整備する事で在宅生活を維持しようとするものです。我々、老健の療法師は住環境について相談を受ける事が多くあります。今回は高齢者を取り巻く住環境についてお話ししましょう。

現在、建築基準法では、木造住居の床面は、床下の換気を確保する為に地面から四五cm以上高くする様に義務付けられています。ですが、高齢者は身体機能の低下と共に、重力に逆らった上下の動きが非常に難しくなります。大きな障害です。更に古い住居では和室と洋室の間や建具に敷居があり、その数cmの目立たない段差が転倒の危険性を孕んでいます。また、旧来の住宅は尺貫法を基準に、柱の芯と芯との間隔が九一cmで設計されています。

す。すると、壁の厚さを差し引けば、廊下やトイレの幅は約七八cm程度となる住居が多くあります。これは車椅子での移動や、排泄介助を行う上で非常に障害となります。

要介護、要支援認定を受けている方には二〇万円までの住宅改修に対し、介護保険から九割の金額が給付されます。先に挙げた段差の解消もその対象となります。例えば、玄関前の不規則な石段を均等に割り付けた階段に変えたり、手すりを付けた階段、車椅子用にスロープを設置したりする事も可能です。

「これが答え」というものを、ここで提示する事はできません。ただ、それぞれ異なる高齢者の身体機能と、介護に当てるご家族やヘルパーさん等の人的環境の状況を十分に考慮した上で、適切な手法を用いて、必要な住環境へと改善していく事が重要と言えます。住環境を整備を行うに当たり、この提示する事はできません。ただ、それぞれ異なる高齢者の身体機能と、介護に当てるご家族やヘルパーさん等の人的環境の状況を十分に考慮した上で、適切な手法を用いて、必要な住環境へと改善していく事が重要と言えます。住環境を整備を行うに当たり、この提示する事はできません。ただ、それぞれ異なる高齢者の身体機能と、介護に当てるご家族やヘルパーさん等の人的環境の状況を十分に考慮した上で、適切な手法を用いて、必要な住環境へと改善していく事が重要と言えます。



（診療部）
リハビリ部門
理学療法士 櫻井公統

新企画

職員登場 (小規模多機能型居宅介護施設)

月日の経つのは早いものです。介護老人保健施設アップル学園前に入社して十年、無事二月に定年を迎えました。そして引き続き三月より同じ法人が経営する小規模多機能型居宅介護アップルで勤務するように半年が過ぎていきます。

職場が変わればシステムも変わります。小規模多機能施設では、朝、ご自宅までお迎えに行き、毎日元気に来所される皆様を笑顔でお迎えして、充実した一日を過ごして頂けるよう、スタッフ一同色々な取り組みを行っています。

先ず、体調管理・入浴・レクリエーション、他に手作りカレンダー、ちぎり絵、音楽鑑賞、おやつ作り、ゲーム遊び、読み書き・計算、ピアノに合わせてアップルコーラス。時には、ドライブしたり、足湯に出かけたりします。外出は皆様に楽しみにして頂いているようです。



私の趣味は、お花⇒んたを生けること、お花が大好きで、木々や草花は季節感を出してくれそうですし、自分の色を強調して個性的な色を見せてくれます。

生け方により、より美しく、生き生きとした表情になるか、お花と向き合っています。

私は、毎日をおもてなしの心、和の精神、感謝の気持ちを持って過ごしていきたいと思えます。

(杉田敏江)



小規模多機能施設にてカルテを記入している杉田さん

◎アップルだより11月号より (アップル壁新聞の抜粋です。)

人気の紅葉
ランキング(奈良)

一位 吉野山

(吉野郡吉野町吉野山)

桜の名所「吉野山」は、秋になると約三万本の「さくらもみじ」で美しく染まります。奥千本の西行庵は静寂に包まれ風情があります。寺社や史跡めぐりと併せて、吉野山の秋を体感することができます。

【見ごろ予想】

十一月上旬～下旬

【紅葉の種類】

シロヤマザクラ、カエデ

二位 信貴山朝護孫子寺

(生駒郡平群町信貴山)

樹齢約五百年の大イチョウがとても美しく色づき、人々の心に感動を与えます。境内にある二千基の石灯笼には日没より灯が入り、壮観な紅葉を楽しむことができます。

本堂ライトアップは、日没から二二時まで実施しています。

【見ごろ予想】

十月中旬～十一月上旬

【紅葉の種類】

イチョウ、サクラ、カシ

三位 長谷寺

(桜井市初瀬)

花の寺にふさわしく本堂の外舞台から眺める紅葉は絶景で、境内はさながら極楽浄土を想わせる程です。

【見ごろ予想】

十月上旬～十一月

二月上旬

【紅葉の種類】

モミジ



編・集・後・記

新しい評価制度が、この秋から導入された。評価は最も重要なマネジメントであるといわれる。それは人材育成が主目的だからである。すなわち、職員一人ひとりの成長につながるようになくなくてはならない。ところどころが、評価と聞いていいイメージを持つ人はすくない。これは実際の取組みの中で変えていかなくてはならない課題だ。

全職員が、今の自分よりも一歩前進する。これが半年ごとに繰り返され、一人ひとりが成長を実感できるように願っている。

(平岡)